

# 校長室だより 週1回発行

令和3年1月13日（水）NO. 20

## 小寒

1月5日から1月19日までが小寒といわれ寒い期間に突入しています。1月20日が大寒で2月3日の立春まで一年間でもっとも寒い日が続くと言われていいます。学校では、感染症予防をしっかりとしながら寒さ対策を行って参ります。ご家庭もよろしくお願ひします。

### 明日を信じて、前向きに歩みましょう

「If winter comes, can spring be far behind.」

これは、イギリスの詩人が言った言葉ですが、日本では昔から「冬来たりなば春遠からじ」と言われています。「冬が来たなら、春はそんなに遠くない」という意味ですが、この冬をコロナに置き換えて、コロナもいつかはなくなり春になると信じて、とても前向きになれる。

It's always darkest before the dawn.  
直訳すると「夜明け前がいつも一番暗い」という意味ですが、日本では「明けない夜はない」というふうに訳されています。これも「コロナという闇もいつか必ず明けると意味で前向きになれる言葉です。

No rain, no rainbow.

「雨が降らなければ、虹は出ない」というアメリカのことわざで、コロナというものがあるけど、そのために今まで気付かなかったことを発見したという意味にとらえて、やはり前向きに感染症と向き合っていこうと思えるようになります。

始業式で私は、山中伸弥さんのVとWを紹介し、Vは「VISION」Wは「WORK HARD」を表して、意味は、「目的をはっきりと持ち、それに向かって懸命に働く」であると話しました。

そして、『クラス内に勉強する雰囲気

あまりなければ、正直あまりやる気が出ないでしょうし、クラスの中がやる気にあふれていれば、モチベーションも上がるでしょう。いつ、どんな場合においてもそうですが、周りの人のことを考えることは、人としてとても大切なことです。自分の行動が周囲の人にどんな影響を与えているのか、お互いを思いやる気持ちがなければ勝負には勝てないと思います。今のクラスで過ごすことができるのは、あとわずかな時間です。部活動も同じです。集団としてまとまる力を高めることが、皆さん一人一人のもっている力を発揮したり、能力を高めたりすることになります。そんなクラスや学年、部活動を作り上げていってください。そして夢の実現に努力し続けてほしいと思います。』と呼び掛けました。

このような時だからこそ、生徒の皆さんと教職員が手を取り合って、明日を信じて、前向きに歩いていきましょう。

## 受験

今週から国立や私立の推薦入試が始まりました。新型コロナウイルス感染症対策や例年になく寒波の中ですが、これまで頑張ってきた力を十分に発揮出来るように支援していきます。

## 県アンサンブルコンテスト

1月9日（土）に県アンサンブルコンテストが開催されました。本校から木管八重奏が仙南地区代表で出場しました。練習時間が確保出来ない中、一人一人真剣に練習に取り組み演奏できたと思います。この経験を生かしこれからの演奏につなげていってください。

## お知らせ

1月12日（火）付けで令和2年度第74回卒業式を3月6日（土）に開催する案内を配布しました。皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。